



ヤツェック・クリムキューヴィッチ
Jacek Klimkiewicz

ポーランド、ワルシャワ生まれ。若くして国内コンクールで優勝した後、ポーランド室内オーケストラの首席コンサートマスターを経て、ドイツ、フライブルク音楽大学にてヴォルフガング・マーシュナー氏に師事。ソナーレカルテットのプリマリウスとして活躍、ラジオ放送、CD録音でドイツ・レコード批評賞、パリ・レバートリー賞、マイアミの1989年度愛好レコード賞を受賞。ソリスト、室内奏者として各国の音楽祭にも招聘される。1992年よりドイツ・エッセン・フォルクヴァング芸術大学のヴァイオリン科の教授。2002年よりドイツ・ハイリゲンベルク・サマーアカデミーの音楽監督として後進の指導にあたる。



小林 秀子
Hideko Kobayashi

桐朋学園音楽大学にて久保田良作、石井志都子にヴァイオリンを師事、その後ヴィオラをドイツ、ケルン音楽大学にてライナー・モーク氏に師事、同大学を首席で卒業。ミュンヘンにおける1980年ARD国際コンクールにて最高賞を獲得し、マルクノイキルヘン、ランス、プレトリアなどにおける数々の国際コンクールにて優勝する。1990年以降は小澤征爾氏が主宰するサイトウキネンオーケストラのメンバーとしても毎年参加。現在マンハイム音楽大学の教授として後進の指導にあたる。



畠中 真理子
Mariko Hatakenaka

三重県伊勢市に生まれる。武蔵野音楽大学器楽学科卒業。ロータリー財団奨学生としてドイツ国立ケルン音楽大学に留学。同大学を卒業後帰国。帰国記念リサイタル以降、ソロのほか室内楽にも積極的に取り組んでいる。これまでに東京都交響楽団メンバー、大阪フィルハーモニーメンバー、ベートーヴェンカルテットと共演。2004年3月まで、皇学館大学教育学部、三重高校音楽コース非常勤講師。2004年4月より高知県を拠点に、高知県、三重県両県で定期的に演奏会を開催している。日本演奏連盟会員。

室内楽の夕べ

ドイツからの響き

9月11日(木)

開演/19時(開場/18時30分)

会場/四万十市立中央公民館

Classical Music in Shimanto

Program [プログラム]

シューベルト：アルペジョーネ・ソナタ イ短調 D.821

モーツァルト：二重奏曲 1番 ト長調 KV423

クライスラー：「愛の喜び」「愛の悲しみ」

マスネ：「タイスの瞑想曲」

ブラームス：三重奏曲 変ホ長調 作品40

○チケット取り扱い所○

市立中央公民館・市立図書館・市立文化センター・西土佐教育分室
市内楽器店・総合衣料田中屋・アピアさつき・サニーマート四万十店
鈴ハイヤー・澤近画廊

●入場整理券：一般 1,500円(当日券：2,000円) 高校生以下：300円

■主催/四万十川国際音楽祭実行委員会 (四万十市立中央公民館内 TEL 0880-34-7311)

■共催/高知県立美術館

■後援/高知新聞社・朝日新聞高知総局・読売新聞高知支局・毎日新聞高知支局・産経新聞社高知支局・日本経済新聞社高知支局・RKC高知放送NHK高知放送局・KSSさんさんテレビ・エフエム高知・KUTVテレビ高知・中村ロータリークラブ・四万十ロータリークラブ・四万十ライオンズクラブ・国際ソロプチミスト幡多・中村青年会議所・中村商工会議所